

平成21年度における温室効果ガス等の排出の削減に
配慮した契約の締結実績の概要

平成22年8月6日
大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成21年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 平成21年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成19年12月7日閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、可能なものから温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の締結に努めた。

2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている電気の調達、自動車の購入及び賃貸借、省エネルギー改修事業（E S C O事業）及び建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務のうち、当機構つくばキャンパス及び東海キャンパスで使用する電気の調達に関して、以下のとおり環境配慮契約がなされた。

【つくばキャンパス】

需給期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
契約電力	68,040kW
予定使用電力量	315,302,624kWh
契約方式	随意契約（電力使用量及び契約電力が大きいため、電気供給の可否について市場調査を行った結果、供給可能な事業者は1社であったため。）
契約事業者	東京電力㈱

【東海キャンパス】

需給期間	平成21年1月8日～
契約電力	185kW
予定使用電力量	60,322kWh
契約方式	随意契約（新規受電であり、電力使用量も少なく、引込負担金がかからないため。）
契約事業者	東京電力㈱

また、建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務の環境配慮契約が締結された。
なお、自動車の購入及び賃貸借、省エネルギー改修事業（E S C O事業）の環境配慮契約については該当がなかった。

3. その他の環境配慮契約に係る事項

- 当機構における環境配慮契約の推進は、「グリーン調達推進体制」をもって推進し、かつ、機構内に設置された「環境・地球温暖化対策推進会議」を活用することとしている。

- 環境配慮契約法及び基本方針に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約を推進するよう、関係部署に対して周知を図った。

電気の供給を受ける契約 平成 21 年度実績調査（概要）

以下の概要の記載は必須とし、個別施設用の個票について把握が可能な範囲で記載してください。

機関名：大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

◇概 要

（１）裾切り方式の実績

契約締結件数（総件数） ※裾切り方式によらない場合 を含む	左記のうち 裾切り方式による 契約締結件数
2 件	うち 0 件

電力の契約量（総量） ※裾切り方式によらない場合 を含む	左記のうち 裾切り方式による 契約量
315,362,946 kWh	うち 0 kWh

（２）裾切り方式を採用しなかった理由（裾切り方式よらない調達があった場合に回答）

- ① 電力使用量及び契約電力が大きいため、電気供給の可否について市場調査を行った結果、供給可能な事業者が 1 社であったため、機構のエネルギー利用計画委員会で協議して随意契約を行った。
- ② 新規受電であり電気使用量も少なく、引込負担金がかからないため。

電気の供給を受ける契約 平成21年度実績調査（個別施設用）

1. 対象施設の概要

電気の供給を受ける契約について： 入札に付する
 ○入札に付さない（理由： 引込負担金がかからないため）

施設名	高エネルギー加速器研究機構 東海キャンパス		
所在地	茨城県那珂郡東海村白方203-1		
延床面積計	10,723	m ²	
階数	地下1階 地上4階	階	
棟数	7	棟	
契約電力	185	kW	
予定使用電力量	60,322	kWh	

2. 電気の供給を受ける契約における裾切り条件

			満点	参加条件
基本項目	<input type="checkbox"/> 二酸化炭素排出係数	⇒		
	<input type="checkbox"/> 未利用エネルギー活用状況	⇒		
	<input type="checkbox"/> 新エネルギー導入状況	⇒		
	<input type="checkbox"/> その他 ()	⇒		
加点項目	<input type="checkbox"/> グリーン電力証書	⇒		
	<input type="checkbox"/> その他 ()	⇒		

3. 電気の供給を受ける契約における点数配分

要素	点数区分	配点
二酸化炭素排出係数（〇〇係数）	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
未利用エネルギー活用状況		
新エネルギー導入状況		
加 点 要 素	点 数 区 分	配 点
グリーン電力証書購入状況		

4. その他（入札情報等）

応札者数	者
うちPPS事業者	者
契約事業者名	東京電力㈱
その他特記事項	

自動車の購入及び賃貸借に係る契約 平成 21 年度実績調査（概要）

機関名：大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

以下で、「1. 概要」の記載は必須とし、「2. 個別調達の詳細」は個別契約について把握が可能な範囲で記載してください。

◇概 要

（1）総合評価落札方式による自動車の購入及び賃貸借の実績

自動車の購入台数（総数） ※総合評価落札方式によらない場合を含む	左記のうち 総合評価落札方式による 購入台数
台	うち 0台

自動車の賃貸借台数（総数） ※総合評価落札方式によらない場合を含む	左記のうち 総合評価落札方式による 賃貸借台数
6台	うち 0台

（2）総合評価落札方式を採用しなかった理由（総合評価落札方式によらない調達があった場合に回答）

1台については、競争参加者からの提案が同一車種であったため、総合評価によらず、価格による競争とした。また、5台については、既存車のリース期間満了に伴う再リースであるため、随意契約とした。

自動車の購入及び賃貸借に係る契約 平成21年度実績調査（個別調達用）

調達機関：大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

調達NO	購入／ 賃貸借	車両			総合評価落札方式		入札結果				
		車種※1	燃料※2	排気量の 目安 (cc)	標準点 (点)	加算点の 満点 (点)	応札者数	落札者の 価格 (万円)	落札者の 燃費 (km/ℓ)	落札者の 価格の順位 (上から)	落札者の 燃費の順位 (上から)
1	賃貸借	乗用車	ガソリン車	ガソリン車 1500cc			2	139.8	20	1	1
2	賃貸借	乗用車	ガソリン車	ガソリン車 660cc			1	48.6	23		
3	賃貸借	貨物車	ガソリン車	ガソリン車 660cc			1	47.1	18		
4	賃貸借	貨物車	ガソリン車	ガソリン車 660cc			1	47.1	18		
5	賃貸借	貨物車	ガソリン車	ガソリン車 660cc			1	47.1	18		
6	賃貸借	貨物車	ガソリン車	ガソリン車 660cc			1	54.7	18		
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

※1 乗用車／貨物車

※2 ガソリン車（ハイブリッド車含む）／ディーゼル車／それ以外

省エネルギー改修事業に係る契約 平成21年度実績調査1

フィージビリティ・スタディの実施状況

1	対象施設名						
	施設概要	延床面積計	m ²	棟数	棟	契約電力	kW
		空調設備					
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果		
備考							
2	対象施設名						
	施設概要	延床面積計	m ²	棟数	棟	契約電力	kW
		空調設備					
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果		
備考							
3	対象施設名						
	施設概要	延床面積計	m ²	棟数	棟	契約電力	kW
		空調設備					
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果		
備考							
4	対象施設名						
	施設概要	延床面積計	m ²	棟数	棟	契約電力	kW
		空調設備					
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果		
備考							
5	対象施設名						
	施設概要	延床面積計	m ²	棟数	棟	契約電力	kW
		空調設備					
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果		
備考							

省エネルギー改修事業に係る契約 平成21年度実績調査2

事業主	〇〇省〇〇局				
対象施設名					
施設概要 (※階数、築年数は主たる建築物を記載)	所在地				
	延床面積計	m ² 棟数	棟 契約電力 kW		
	階数	築年数 年			
	空調設備 記載例(主に熱源設備を記載): ●●冷凍機〇kW×●●台、〇〇ボイラー〇kW×●●台				
契約方式・期間	1 ガランティード・セイビングス契約 2 シェアード・セイビングス契約 3 その他(具体的に: _____)				
	期間	平成 _____ 年 ~ 平成 _____ 年			
事業規模 (支払金額)	初年度	円/年	2年目以降 円/年		
タイプ	1 設備更新型ESCO事業である 2 設備更新型ESCO事業ではない				
事業方式	1 BTO方式 2 BOT方式				
入札方式	1 総合評価落札方式 2 企画競争 3 その他(_____)				
請負業者					
補助金	1 有(補助率 〇/〇) 2 無				
1 省エネルギー効果等 (※施設全体基準とする)		改修前(実績等(3箇年の平均))		改修後(見込可)	
	データの期間	平成〇年〇月~平成〇年〇月		平成〇年〇月~平成〇年〇月 or 見込み	
	エネルギー使用量	GJ		GJ	
	電気使用量	kWh		kWh	
	A重油使用量	kL		kL	
	熱使用量	GJ		GJ	
	ガス使用量	Nm ³		Nm ³	
	水使用量	m ³		m ³	
	その他(_____)				
	光熱水費	円		円	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂		t-CO ₂	
省エネルギー率	%		CO ₂ 削減率	%	
主な省エネルギー項目				
				
				
				
				

建築物の設計に係る契約 平成 21 年度実績調査（概要）

機関名：大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

問 1 貴府省庁で、平成 21 年度に環境配慮型プロポーザル方式を実施した事例があればその概要を下表にご記入ください。

1	事業名	高エネ研（東海）ハドロン実験装置用設備設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村
	建物概要	用途：研究施設の装置用電源・冷却水設備 構造・規模：変電設備 400KVA、冷却水量 4,000L/min	
		備考	
	契約年月	平成 21 年 4 月	
環境配慮に関するテーマ	①合理的な耐久性及び技術的事項を配慮し長寿命化を図り、総合的に環境負荷を低減させる方策 ②環境負荷低減に資する資機材を使用し、総合的に環境負荷を低減させる方策 ③エネルギー損失の低減を考慮したシステムを構築し、資源の有効利用を図る総合的な環境負荷を低減させる方策		
2	事業名	高エネ研（東海）1号館改修設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村
	建物概要	用途：研究施設 構造・規模：鉄筋コンクリート造 4 階建 8,166 m ²	
		備考	
	契約年月	平成 21 年 7 月	
環境配慮に関するテーマ	①施設の機能・品質確保を前提とした、二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーを行うにあたっての方策 ②コスト縮減（建設工事も対象）及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策		
3	事業名	高エネ研基幹整備（スクリー冷却機等更新）設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 つくば市
	建物概要	用途：冷却水設備 構造・規模：スクリー冷却機 300T×5 基 他	
		備考	
	契約年月	平成 21 年 5 月	
環境配慮に関するテーマ	①合理的な耐久性及び技術的事項を配慮し設備の長寿命化を図り、総合的に環境負荷を低減させる方策 ②エネルギー損失の低減を考慮したシステムを構築し、資源の有効利用を図る総合的な環境負荷を低減させる方策 ③コスト縮減及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策		
	事業名	高エネ研（東海）ユーザー宿泊施設設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村

4	建物概要	用途：宿泊施設		構造・規模：鉄筋コンクリート造 壁式構造 3階建 1,510 m ²	
		備考			
	契約年月	平成 21 年 10 月			
	環境配慮に関するテーマ	①周辺環境に配慮した建物及びデザインについての提案 ②施設の機能・品質確保を前提とした、二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーを行うにあたっての方策 ③コスト縮減及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策			
5	事業名	高エネ研 STF トンネル搬入口新営土木工事設計業務			
	所在地	都道府県	茨城県	市区町村	つくば市
	建物概要	用途： 研究施設		構造・規模：鉄筋コンクリート造 19m×9m	
		備考			
	契約年月	平成 21 年 12 月			
環境配慮に関するテーマ	①施設の機能・品質確保を前提とした、仮設計画についての提案				
	②コスト縮減及びライフサイクルコスト低減を行うにあたっての方策				

なお、環境配慮型プロポーザル方式を実施した事業が 6 つ以上ある場合は、代表的な事例 5 つを上記の表に記入し、その他の事例について下記に件数をご記入下さい。

上記事例の他に	1件
---------	----

問 2 貴府省庁で、平成 21 年度に環境配慮型プロポーザル方式を実施した事例のうち、既に施工を開始している事業件数と、そのうちプロポーザル方式における設計事業者の環境配慮の提案を実際に契約図書に明記した件数をお答えください。

既に施工を開始している事業件数	4件	左記のうち設計事業者の環境配慮の提案を実際に契約図書に明記した件数	4件
-----------------	----	-----------------------------------	----

問 3 貴府省庁で、平成 21 年度に環境配慮型プロポーザル方式を実施しなかった事例があれば、その代表的な理由をお答え下さい。

1	
2	
3	

建築物の設計に係る契約 平成21年度実績調査（個別施設用）

環境配慮型プロポーザル方式の実施状況

1	事業名	高エネ研(東海)ハドロン実験装置用設備設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村
	建物概要	用途 研究施設の装置用電源・冷却水設備	構造・規模 変電設備400KVA、冷却水量4,000L/min
	備考		
	契約年月	平成 21年	4月
環境配慮に関するテーマ	①合理的な耐久性及び技術的事項を配慮し長寿命化を図り、総合的に環境負荷を低減させる方策 ②環境負荷低減に資する資機材を使用し、総合的に環境負荷を低減させる方策 ③エネルギー損失の低減を考慮したシステムを構築し、資源の有効利用を図る総合的な環境負荷を低減させる方策		
2	事業名	高エネ研(東海)1号館改修設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村
	建物概要	用途 研究施設	構造・規模 鉄筋コンクリート造4階建 8,166㎡
	備考		
	契約年月	平成 21年	7月
環境配慮に関するテーマ	①施設の機能・品質確保を前提とした、二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーを行うにあたっての方策 ②コスト縮減(建設工事も対象)及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策		
3	事業名	高エネ研基幹整備(スクリー冷却機等更新)設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 つくば市
	建物概要	用途 冷却水設備	構造・規模 スクリー冷却機 300T×5基 他
	備考		
	契約年月	平成 21年	5月
環境配慮に関するテーマ	①合理的な耐久性及び技術的事項を配慮し設備の長寿命化を図り、総合的に環境負荷を低減させる方策。 ②エネルギー損失の低減を考慮したシステムを構築し、資源の有効利用を図る総合的な環境負荷を低減させる方策 ③コスト縮減及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策		
4	事業名	高エネ研(東海)ユーザー宿泊施設設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村
	建物概要	用途 宿泊施設	構造・規模 鉄筋コンクリート造 壁式構造3階建1,510㎡
	備考		
	契約年月	平成 21年	10月
環境配慮に関するテーマ	①周辺環境に配慮した建物及びデザインについての提案 ②施設の機能・品質確保を前提とした、二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーを行うにあたっての方策 ③コスト縮減及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策		
5	事業名	高エネ研STFTトンネル搬入口新営土木工事設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 つくば市
	建物概要	用途 研究施設	構造・規模 鉄筋コンクリート造 19m×9m
	備考		
	契約年月	平成 21年	12月
環境配慮に関するテーマ	①施設の機能・品質確保を前提とした、仮設計画についての提案 ②コスト縮減及びライフサイクルコスト低減を行うにあたっての方策		
6	事業名	高エネ研(東海)MLF-BL実験施設新営土木工事設計業務	
	所在地	都道府県 茨城県	市区町村 東海村
	建物概要	用途 研究施設	構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 506㎡
	備考		
	契約年月	平成 21年	12月
環境配慮に関するテーマ	①コスト縮減及びライフサイクルコスト低減にあたっての方策		